

# 第1回ミニセミナーを実施しました



地域支援センター

今年度も小学校や中学校、各事業所等の方々を対象に、ミニセミナーを実施しています。

第1回は9月6日（水）に「境界線、グレーゾーンと言われる児童生徒の進路と支援」というテーマで、いわき地区若者サポートステーションの清水 国明様と神永 いつか様を講師に招いて実施しました。現代の若者が抱える様々な不安や課題について知ったり、不安が生じるメカニズムを学んだりすることができました。今回のミニセミナーを通して学んだことを、今後の児童生徒たちとの関わりに生かしていきたいと思えます。

参加した方々からは、以下のような様々な感想をいただきました。

- どの生徒でも“安心できる”ということがとても大切だと改めて考えさせられた。安心＝自信、やる気、強さなどにつながっていると感じた。
- 若者が様々な不安を抱えていることが分かった。不安を抱える若者の居場所を作ることの大切さを感じた。
- 「中間的就労」という就労の仕方があることを知ることができた。
- 仕事＝賃金を受け取ることの喜びと思っていたが、賃金を受け取ることに怖さを感じる人もいるのだと分かり、考え方が広がった。
- 「中間的就労」のようにワンクッションある機会や場は、不安を抱える若者にとってはとても優しい考え方だと思った。
- 上手くいかない理由が怖さや認知のズレであるということを知ることができた。今後の対応に生かしていきたいと思う。



次回のミニセミナーは、11月8日（水）16：00からです。「他害や暴言など行動に特徴を抱える生徒の理解と指導」というテーマで、本校教諭の鈴木明仁が講演をします。お申し込みは随時受け付けておりますので、ぜひご参加ください。